

カンキョー株式会社 石村 智之

6月8日(土)調布市役所前庭にて開催された第41回調布市環境フェアに参加させて頂きました。私は昨年に続き2回目の参加となりました。当日は天候にも恵まれ、会場は大勢の来場者で賑いました。

このフェアは、市民に環境を見つめ直し、考える機会をもってもらうため調布市が毎年開催しているものです。市民団体、企業、行政機関など当協会を含めて総勢25のブースが出展しました。木工教室やエコバック作りなど、来場者が参加体験できるブースは特に人気があったようです。

当ブースではリーフレットやマグネットの配布、ポスターやパネル写真の展示、簡単なクイズの出題などを通じて市民のみなさまと触れ合いながら協会の活動PR、害虫相談の受付などを行いました。

今回もスタンプラリーがあったため、ブースにはたくさんの方が立ち寄って下さいました。はじめは「東京都ベストコントロール協会？何のブースだ？」という感じでスタンプを

押しに来られていましたが、害虫相談所と分かると、これまでの害虫にまつわるエピソードなどを話してくださったり、中には熱心に質問される方もいらっしゃいました。

結局、相談件数としては50～60件ぐらいで、ネズミ、ハクビシン、スズメバチ、シロアリに関する相談が多かったように思います。最近では薬局やホームセンターなどに様々な害虫防除の薬剤や対策商品が置いてあるため、みなさんそういった物を購入してどうにか対処されているようです。

今回この環境フェアに参加して感じた事は、何らかの害虫(獣)で困っている方たちはたくさんおられるが、どこに相談すればいいのか分からないというのが現状で、当協会がまだまだ世間のみなさまに認知されていないという事です。

こうした広報活動を地道に行い、当協会がみなさまに認知されるようになれば今後間違いなくわれわれの業界は盛り上がっていくことと思います。

